

<p>クアラルンプール日本人学校の実践 対馬市立大船越小学校 教諭 長瀬 和孝 先生</p>		<p>学年で足並みをそろえて指導することが、保護者の信頼を得ることにつながるということでした。</p>
<p>ウィーン日本人学校の実践 対馬市立豊玉小学校 教諭 清水 明日香 先生</p>		<p>目の前の自分にやれることを一生懸命やること、見聞を広め子どもたちに還元するという言葉が印象的でした。</p>
<p>ジャカルタ日本人学校の実践 雲仙市立南串第二小学校 教諭 藤田 義則 先生</p>		<p>テロに備えた安全の確保と、日本語の特別な支援が課題であるというお話でした。</p>
<p>理論研修 「他者とともに生きる 国際社会人の育成」 長崎市飽浦小学校 教頭 上久木田 雄二 先生</p>		<p>これからの国際理解教育が目指す人間像を「国際社会人」と位置付けた基調提案がなされました。</p>
<p>実践報告 「桜馬場中学校における 国際理解教育の実践」 長崎市立桜馬場中学校 教諭 安城 学 先生</p>		<p>長崎ならではの活動である平和教育と関連した国際理解教育として、平和紙芝居の紹介がありました。</p>
<p>実践報告 「東彼杵町国際交流事業 オランダ派遣の取組」 東彼杵町立千綿中学校 校長 楠本 満 先生</p>		<p>地域の中で行われている国際理解教育として、小中学生のオランダへの派遣事業の紹介がありました。</p>

